

A black and white photograph of Ironowa hair color products. In the foreground, a metallic silver hair color tube with a black cap is angled diagonally. The tube features the 'ironowa' logo in a circle and the text 'This is a special product for 1... We promise that this product...'. In the background, two white boxes are stacked, also displaying the 'ironowa' logo and similar text. The entire scene is set against a light-colored marble surface with dark veining.

IRONOWA

COLOR GUIDE

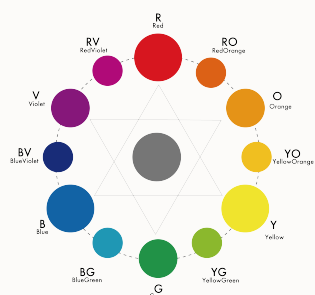
ヘアカラーをもっと楽しく。もっと自由に。

○ 補色専用カラー



「補色の関係で生み出される色は“無彩色”」

色の原理原則に基づいたカラー理論で、ヘアデザイナーの悩みを解決し、
感覚的になりがちなカラー教育を、大きく前進させるニュースタンドードヘアカラー剤



* 化粧下地のようにベースカラー（アンダートーン）
をコントロールすることで、目的のカラーを表現
しやすくする。

* CC（コントロール・カラー）クリームなどのような役割

○ 補正色専用カラー



「ベースムラを“補正”し、均一なカラーに」

明度差や色素差のあるベース、いわゆる ムラのある状態に対して、
安定した目的色にするための万能型ベージュブラウン染料のカラー剤「ピグメント」



ファンデーションのように、色味の補正や
ベースのカバーをする役割を担う。



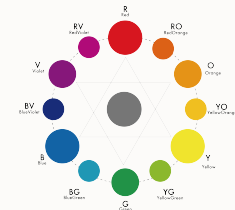
薬剤選定をシンプルにすることを目的とし、色の原理原則をベースに設計した 補色/補正色専用カラー

名称：イロノワカラー（全6色）

医薬部外品

容量：80g

サロン価格：700円（税抜）



【カラーラインナップ】



■ そもそもなぜ、ヘアカラーの薬剤選定で悩んだり失敗したりするのか

カラー剤の進化もあり、1本で簡単に染めることが出来る薬剤が増えたことが要因のひとつ

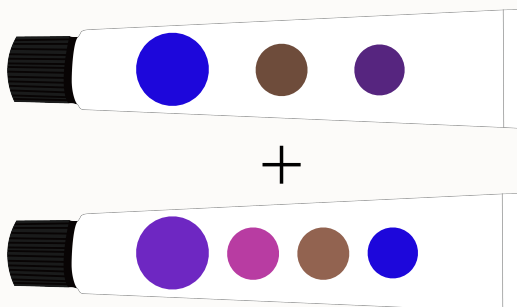


主染料/（副染料）/ブラウン染料/補色染料がバランス良く配合されている優秀な薬剤が多い



一方で、微妙なニュアンス調整の場合などや、難しいベースのシーンでは、総量の染料構成などが読みづらく、複雑な考え方になってしまう

※ 従来のカラー剤での施術時イメージ



多くの染料や補色などが組み合わせることで
複雑なバランスの薬剤が出来上がる



仕上がりは何色？染料構成は？
結果、予測がしづらくなり、
思った仕上がりと違くなることも出てくる

失敗の原因が不明で、ヘアカラーの苦手意識につながる可能性も

■ カラー剤の役割分担を明確にする3要素

シンプルな薬剤選定の為には、カラー剤を下記3要素に区分けして考える

目的色

作りたい色



好みのカラー剤を使用



補色

ベースを無彩色に近づける色

補正色

ベースの色素差を補う色



2要素を「イロノワカラー」で固定する



目的色（希望色）を軸とした、ベースに対しての補色・補正色としてイロノワカラーを使用します。
補色と補正色を固定することで、薬剤選定をシンプルにし、狙った通りの仕上がりを表現しやすくなります。



■ 薬剤の使用目的を絞り、ブレない薬剤選定を可能にする「イロノワカラー」

BLUE

PURPLE

GREEN

PINK

PIGMENT

CLEAR

補色

補正色

色量調整

目的色以外の固定化で、常にブレないカラー基準を作ることが可能

シンプルな思考とシンプルな薬剤で、カラーデザインを自在にコントロール

●補色 / 補正色特化型カラー剤

イロノワカラー（医薬部外品）

全6色 各80g



BASE	【補色】				【補正色】	【色量調整】
	BLUE	PURPLE	GREEN	PINK	PIGMENT	CLEAR
白						
19Lv						
17Lv						
14Lv						
10Lv						
黒						

*毛束はイメージです。条件により多少の色味の違いがあります。

*使用上の注意をよく読んで、正しくお使いください。

*ご使用前には毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）をしてください。

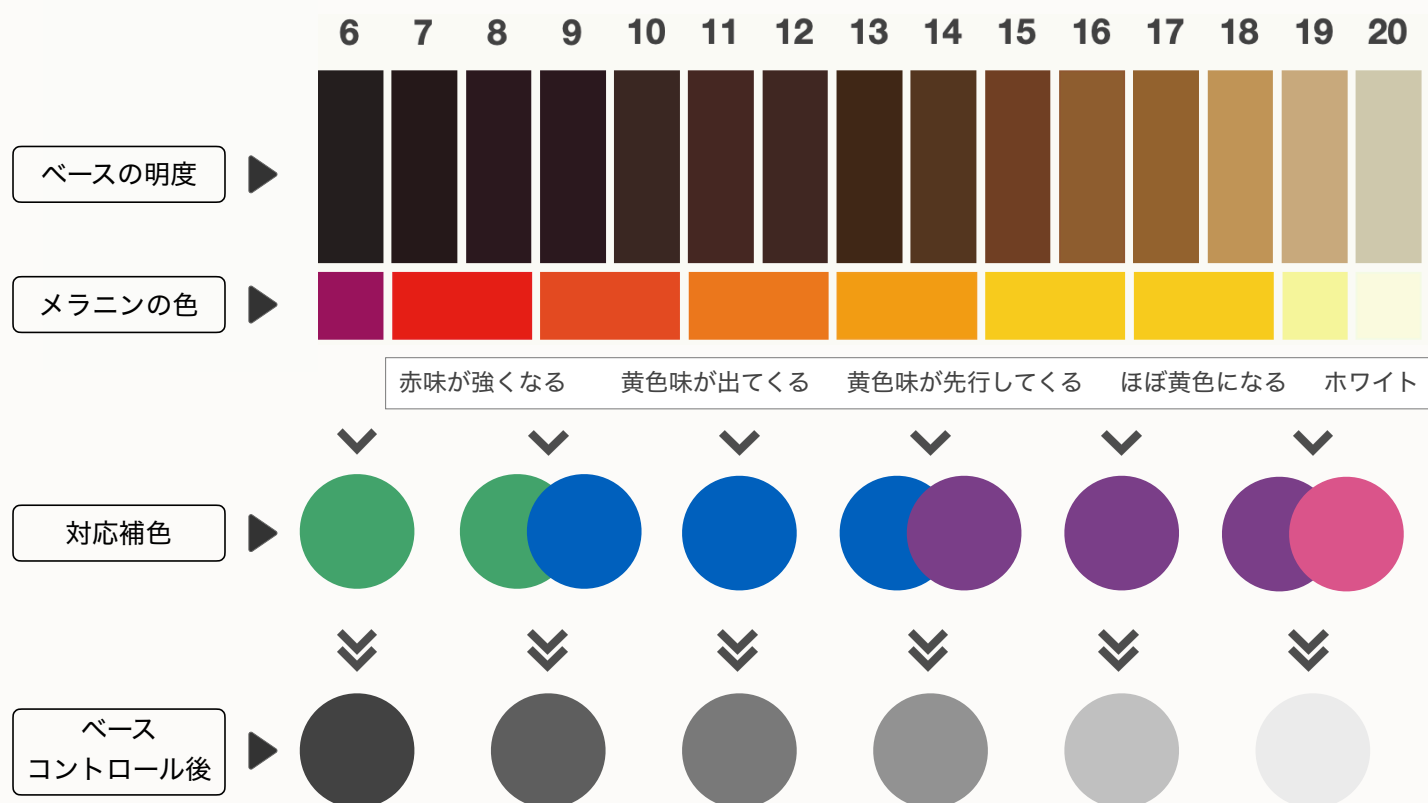
*今までにヘアカラーでかぶれたことのある方には、絶対に使用しないでください。

● 補色専用カラー「BLUE / PURPLE / GREEN / PINK」



補色は固定するという新常識

ベースを一度「無彩色」にコントロールし、目的色をブレない発色に



補色でベースの色素量をコントロールし無彩色にすることができれば、目的色との組み合わせで、狙った色味が簡単に表現できるようになります。

● 補色簡易目安表

明度別のアンダートーンに対しての補色の色味・配合比率の目安

BASE	GREEN	BLUE	PURPLE	PINK
19Lv			1%	1%
18Lv			5%	1%
17Lv			10%	
16Lv		5%	5%	
15Lv		5%	10%	
14Lv		10%	5%	
12 – 13Lv		15%		
10 – 11Lv		10%		
8 – 9Lv	5%	5%		
6 – 7Lv	5%			

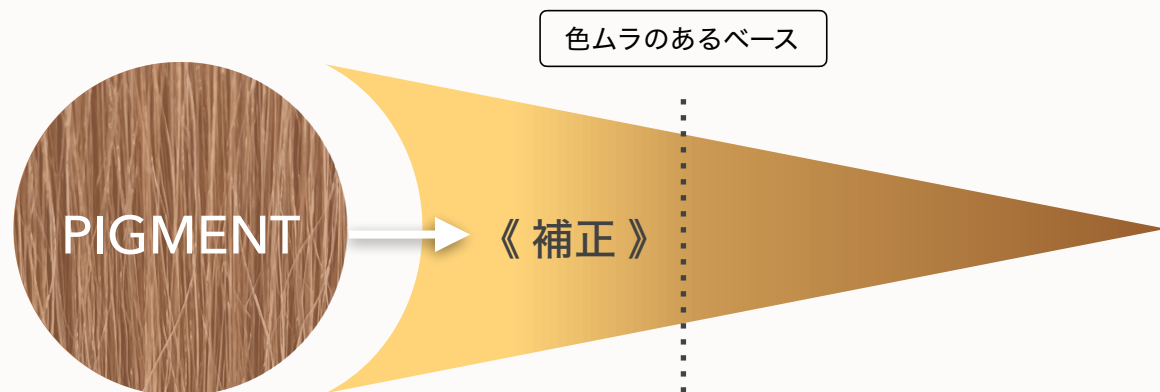
* 明度別アンダーの色味はイメージです。髪質や条件により多少の色味の違いがあります。

* 上記の比率目安はイロノワカラーを使用した時の目安です。他メーカーのコントロールカラーを補色として使用する際には比率調整が必要になります。

* 残留色素によって比率は変動することがあります。

* 0.5Lvの違いは、近い明度で薬剤選定を行うようにしてください。

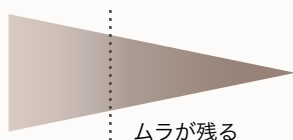
● 補正色専用カラー「PIGMENT（ピグメント）」



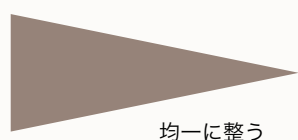
ピグメント：ベースの色素差や明度差を補うベージュブラウン系染料（補正・補整効果）

＊カラー時のイメージ

△ 補正色なしでカラー



◎ ピグメントを補正色として使用



- ベースの色素差を補う（補正）
- 明度・彩度の調整（トーンコントロール）
- 柔らかいベージュブラウン要素の付与

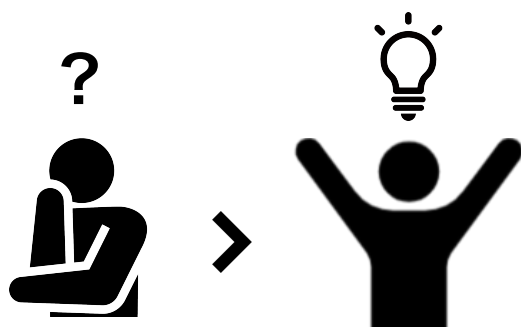
● ピグメント使用時の分量目安

目的色＋補色（1剤の総量）に対して、補正色として分量を調整

ベースの状態	PIGMENTの分量（1剤総量に対して）
色ムラ なし	—
色ムラ 弱	5～10%
色ムラ 中	10～30%
色ムラ 強	30～50%

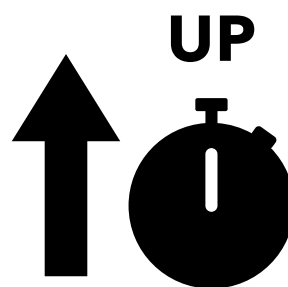
潜在的なサロンニーズに応える、薬剤スペックとカラー理論

成功体験の醸成



悩んでいたカラー理論が
シンプルでクリアになり失敗が減る

生産効率の向上



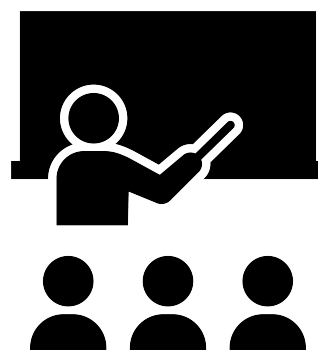
薬剤選定に時間がかからなくなり
生産性アップ

材料費の削減



補色薬剤として限られたラインナップで
固定できるので材料コストの削減に

教育の底上げ

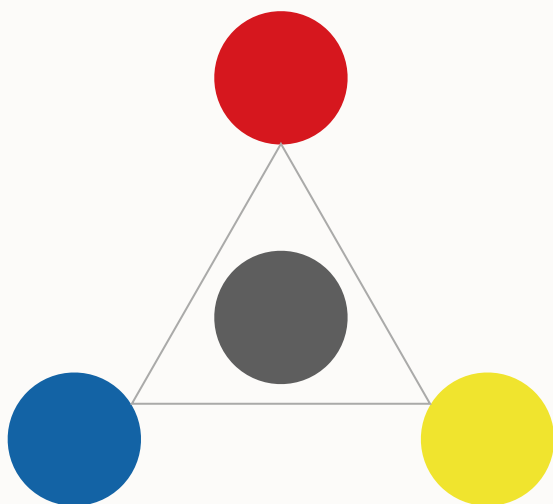


カラー教育において、スタッフ間で
共通認識を持ちやすい

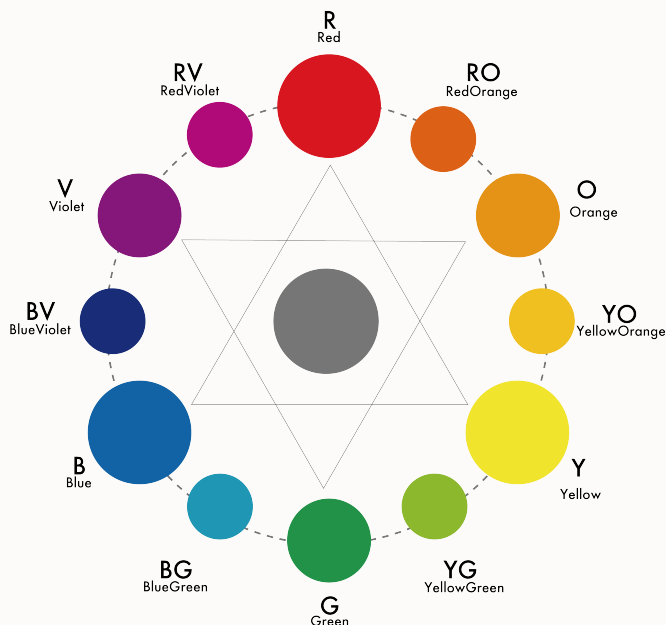
美容師として必要なスキルとロジックに加え、
成功体験やスタッフ教育の変革によるプロ意識の醸成に繋がります

色の原理原則

色の三原色をMIXすると無彩色系（黒褐色）になる

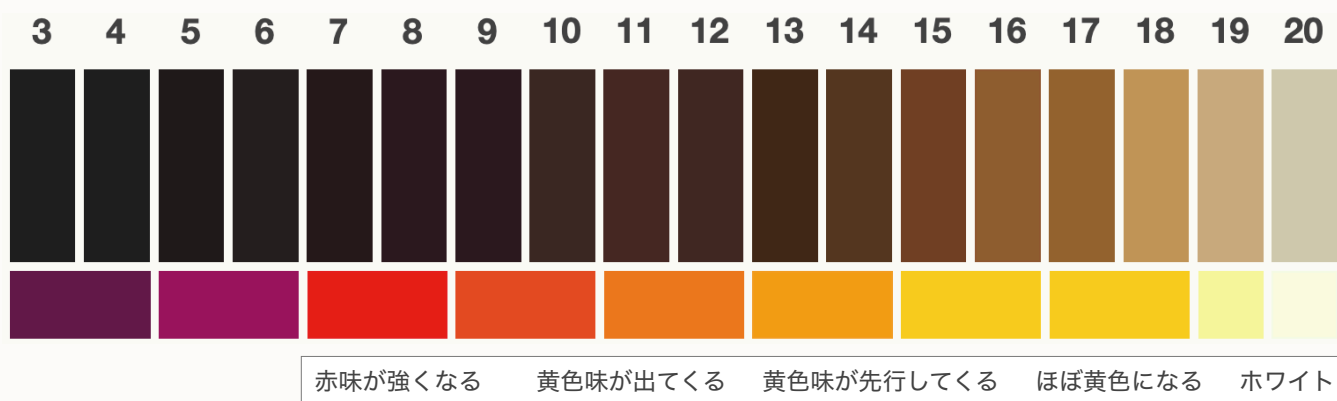


補色（色相環で向かい合った色）同士をMIXすると
無彩色系の色になる ※三原色を含む混色になるため

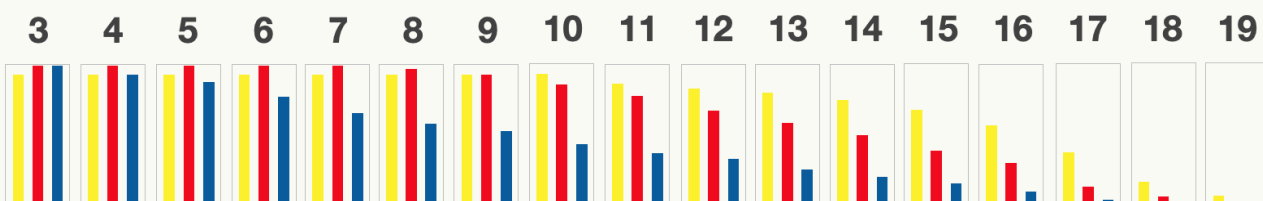


メラニン色素の色と量の変化

明度とメラニンの色の変化

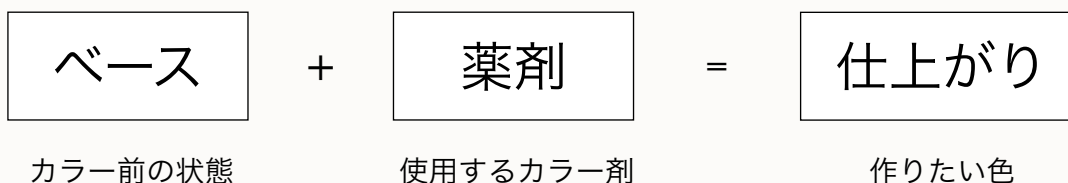


明度別 ピグメントバー（メラニン色素量の変化）

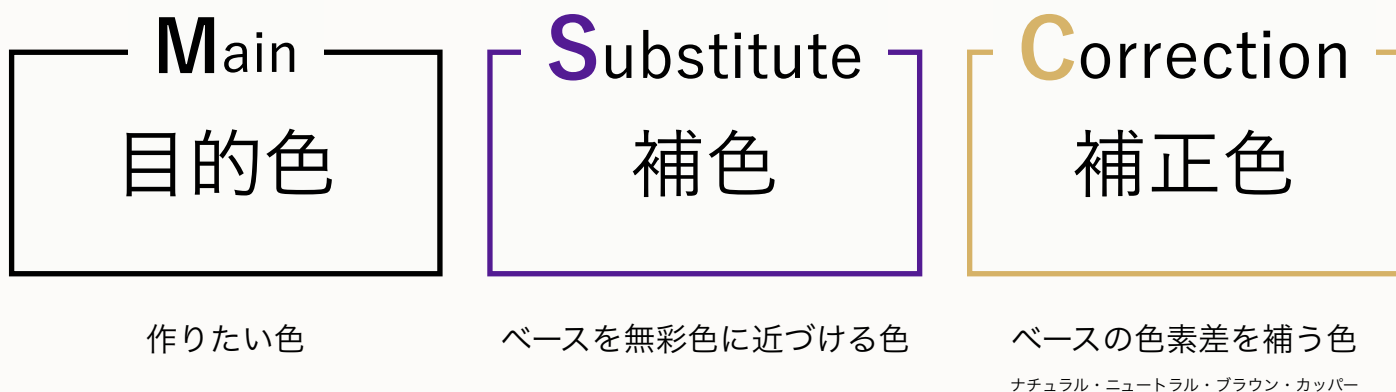


メラニン色素も黄・赤・青の三色のバランスで構成されている
明度が明るくなるにつれて、保有メラニンの色味と分量の変化が起こる

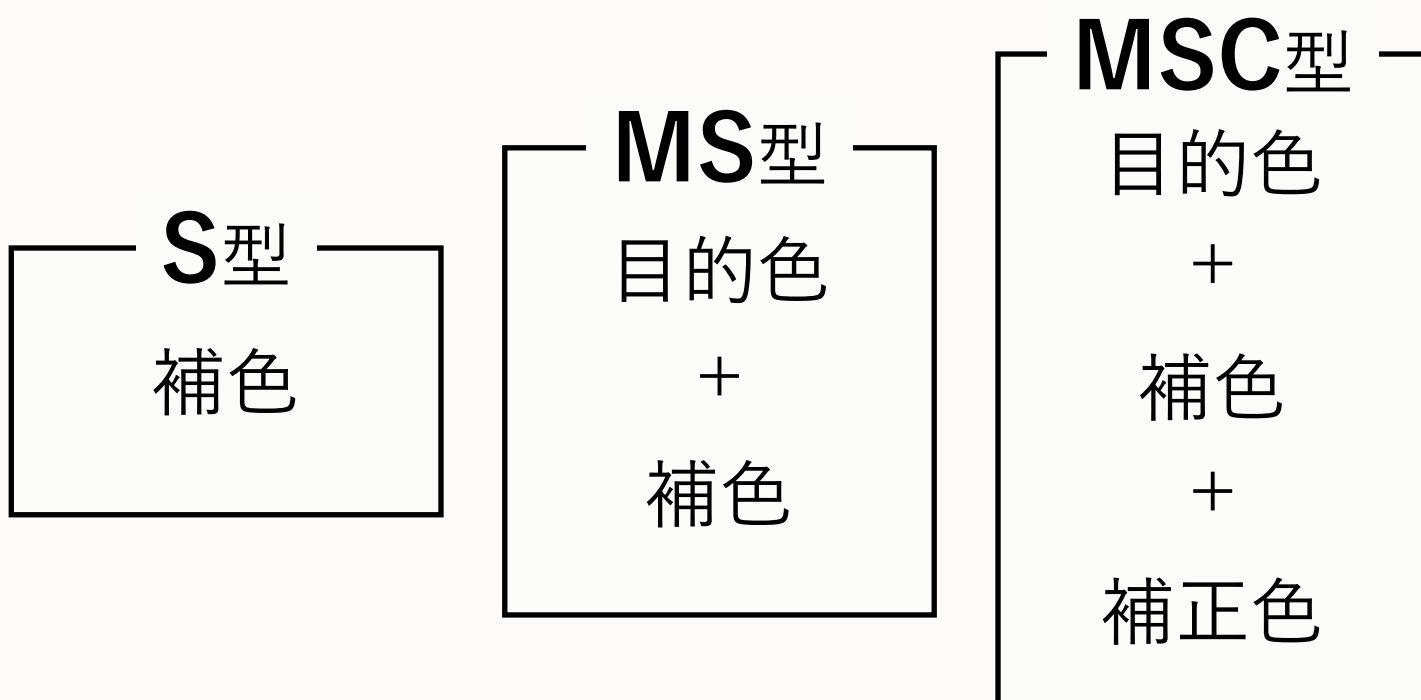
薬剤選定の3つの「要素」と基本の「型」



● 3つの要素



● 3つの基本の型（3つの要素を掛け合わせる）



無彩色系仕上がりの場合：S型

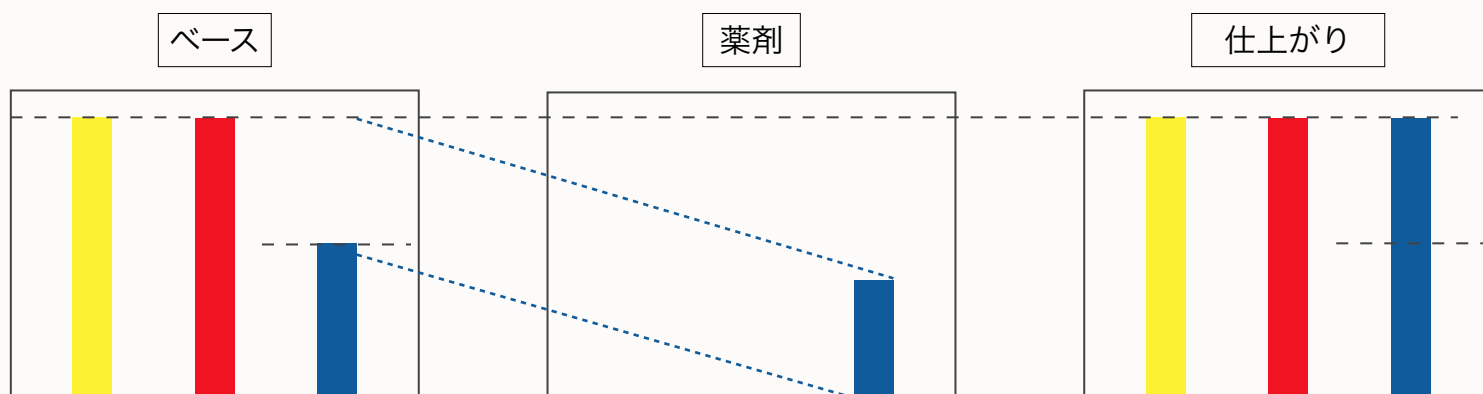
S型 補色

ベースに対しての補色のみ
明度を下げずに彩度を下げることができる

【イロノワカラー】のみ使用



*イメージ例



S：色を補いバランスを合わせる



S型



補色

【イロノワカラー】



ベースに対しての補色のみ

色味系仕上がりの場合：MS型

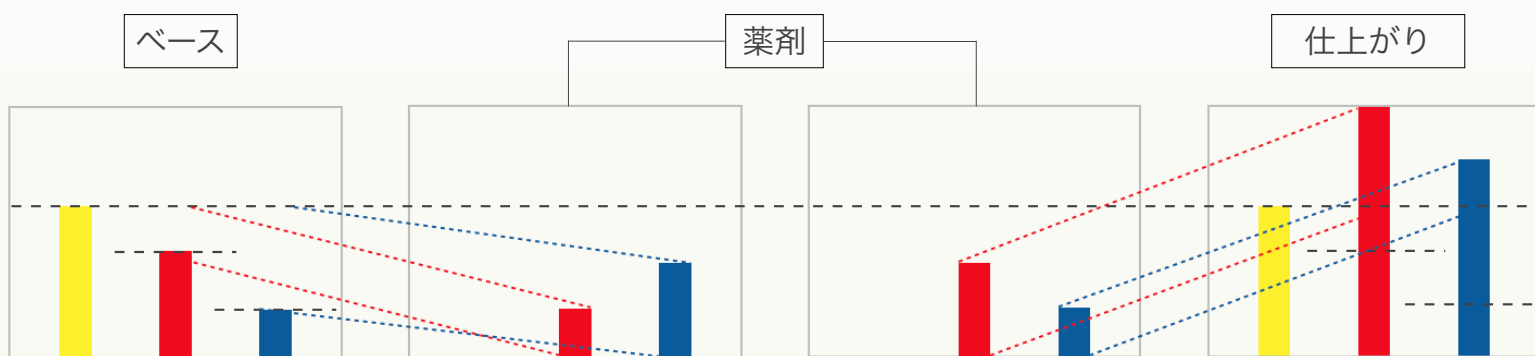
MS型
目的色
+
補色

作りたい色とベースに対しての補色
基本的な薬剤選定で失敗しにくい

普段お使いのカラー剤と【イロノワカラー】

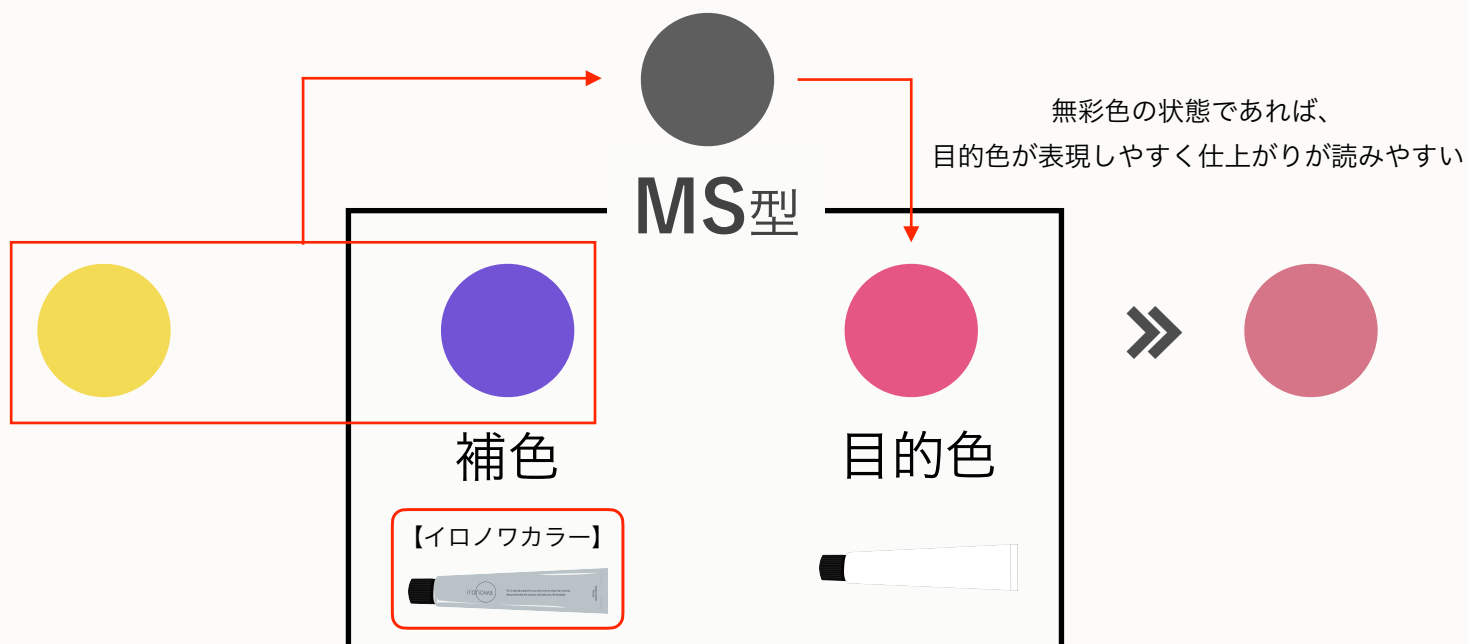


*イメージ例



S：色を補いバランスを揃える

M：目的色で色味を表現



無彩色の状態であれば、
目的色が表現しやすく仕上がりを読みやすい

ベースを無彩色に近づける色＝補色
作りたい色＝目的色

* ベースを無彩色にすることをわかりやすく表現する為、S：補色から反応するイメージを記載しています。

ベースムラがあり、色味系仕上がりの場合：MSC型

MSC型

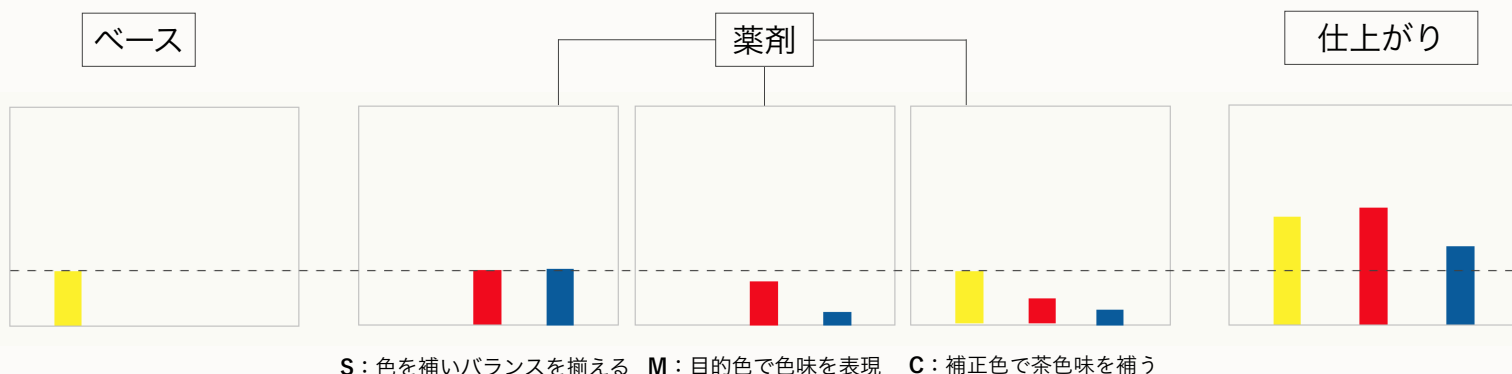
目的色
+
補色
+
補正色

目的色に近づくためにベース補正をする
色味を柔らかくしたり、安定感を持たせる
ベースのティント差を埋めて、均一な色を作る

普段お使いのカラー剤と【イロノワカラー】



*イメージ例



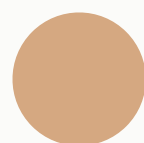
MSC型



補色



目的色

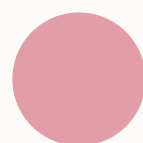


補正色

【イロノワカラー】



【イロノワカラー】



明度を下げることができ、
ベースムラの補正もできる

ベースを無彩色に近づける色＝補色

作りたい色＝目的色

茶色味を補う＝補正色

*ベースを無彩色にすることをわかりやすく表現する為、S: 補色から反応するイメージを記載しています。

C: 補正色は、根元と毛先のベースのティント差を埋めるためにも活用できます。

→ 根元はMSC型、毛先はMS型などの組み合わせのパターンも可能です。

The background of the entire page is a light gray surface with a complex, organic marbled pattern. Darker gray veins and streaks of varying thickness and direction are scattered across the lighter background, creating a textured, stone-like appearance. In the center of the image, the word "IRONOWA" is printed in a bold, black, serif typeface. The letters are evenly spaced and have a classic, slightly formal feel.

IRONOWA